

県政さわやかタウンミーティング

平成20年11月5日

西部食肉衛生検査所長

主催者	部局	厚生部	所属	西部食肉衛生検査所管理指導課
開催日時	平成20年08月20日（水） 13時30分～15時			
会場	静岡県西部食肉衛生検査所2階共用会議室（掛川市）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 食肉の安全確保に関するタウンミーティング			
テーマ	食肉の安全確保（農場から食卓まで）			
開催目的 (今後の施策への反映の方向性等含む)	家畜の生産から食肉として消費されるまでの食肉の安全確保について意見交換を行い、今後の施策の参考とする。			
参加者	一般消費者 16人 男 7人 女 9人			
対応局長等	西部食肉衛生検査所長 西部家畜保健衛生所長			

開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	1 開会 2 パネラー紹介 3 業務内容説明 ア食肉衛生検査所 イ家畜保健衛生所 ウ経済連小笠食肉センター 4 「動物のからだのしくみ」、「お肉ができるまで」スライド説明 5 検査室見学 6 意見交換		
意見件数	5件（テーマ 5件、テーマ外 0件）	発言者数	5人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉については、抗菌性物質や農薬等の残留問題が気になっている。 ・生協を中心に食品の購入をしているが、生協なら安全を感じられる。 ・BSE検査をしない牛肉は購入したくない。 ・BSE検査の20ヶ月齢以下の問題については、それが何割くらいになるのかの情報があまり無いので判断できない。 ・ほとんどの営業者は誠実に運営しているのだろうが、ほんの一握りの違反者によって汚染されているように感じてしまう。 ・偽装表示等の報道で生産者の対応を見ると、とても消費者の事を考えているとは思えず驚いている。 ・食肉の偽装表示問題については、違反者への罰則を強化するべきだと思う。 		
施策への 反映見込	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉の残留有害物質検査については効果的に実施し、安全な食肉の供給努めていく。 ・食肉の偽装表示問題については、保健所とも連携を図りながら指導の徹底を図る。 ・牛海绵状脳症(BSE)検査の20ヶ月齢以下の問題についての意見は、本庁食品衛生室へ情報提供する。 		
企画運営担当	所属	厚生部西部食肉衛生検査所 管理指導課	担当者 石井 秀紀 電話 0537-24-0725